

学校だより 雄飛

佐倉市立西志津中学校 第6号 令和8年10月1日(木)
『自他を認め 進んで考え挑戦し 未来を拓く生徒の育成』
～自己指導能力とWell-beingの涵養～
挑戦(Challenge)・認め合い(Respect)・粘り強さ(Resilience)

生徒数 1年125名 2年118名 3年128名 計371名

〒285-0845 佐倉市西志津4-18-1 043-462-1161

◇『和衷協同』◇

校長

このたびの台風25号により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、復旧・支援に尽力されている全ての関係者の皆様に深く敬意を表します。被災地の日も早い復興と、皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。

さて、10月は令和8年度の折り返しの時期です。4月に思い描いた「なりたい自分」に近づいているでしょうか。うまくいったこと、思うようにいかなかったことを振り返り、後半に向けて新たな目標を定める大切な節目です。

また、秋は「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」など、さまざまな呼び名で親しまれる季節です。厳しい暑さを乗り越え、心も体も少し余裕が生まれるこの時期だからこそ、新しい挑戦への意欲も湧いてきます。ぜひ五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)を働かせながら、自分の可能性を広げてほしいと思います。

私は、西中生一人一人に、将来「自分らしさ」と「幸せ(Well-being)」を感じながら生活できる大人になってほしいと願っています。そのために大切なのは、自分だけの成長ではなく、人とのつながりの中で幸せを感じることです。

コクヨ株式会社が、「We-being(ウィビーイング)」という考え方を提唱しました。これはWell-beingの「Well」を「We」に置き換えた言葉で、「人と人とのあいだに生まれる幸せ」を意味します。仲間の成長を喜べること、安心して過ごせる居場所があること、そして「自分も頑張れている」と感じられること。こうしたつながりの中で育まれる幸せが、私たちの人生をより豊かなものにしてくれます。

「人や場への好奇心を通して調和し、その協調関係を支えに自律的に行動できる状態」と定義され、次の3つの幸せで構成される。

○わかちあう幸せ: 仲間の成長や達成を、わがことのように感じられる幸せ

○なじむ幸せ: 支え合う仲間や場があり、ここに居場所があると思える幸せ

○ひとなみの幸せ: 「私もやれてる」という安心感から、今の自分をやさしく肯定できる幸せ

コクヨ株式会社「We-Being Project」

Well-beingについて、3月20日が国際幸福デーであることから、オックスフォード大ウェルビーイング研究センターが「世界幸福度報告書2026」を公表しました。

※数値は幸福度

1位 フィンランド 7.764 2位 アイスランド 7.540 3位 デンマーク 7.539 4位 コスタリカ 7.439
5位 スウェーデン 7.255 61位 日本 6.130 65位 中国 6.074 67位 韓国 6.040

日本だけに着目すると、順位は当初の40位台から低下傾向が続き、2020年には62位まで下がりました。2023年に47位まで回復し、その後は再び下落を続けています。データ中の6つの要因別にみると大きな差がみえます。(順位は2026年の世界順位)

①健康寿命:2位 ②1人あたりGDP:28位 ③腐敗の少なさ:29位 ④社会的な支え:44位

⑤人生の選択の自由:85位 ⑥寛容さ:122位

この結果から、経済的な豊かさだけでは幸福度は高まらないことがわかります。また、今年の報告書に、若年層の幸福とソーシャルメディアの関係を大きなテーマに据えています。一部の国々において、過度な利用が若者の幸福度の低下の大きな原因になっていることが示唆されたとしています。ソーシャルメディアをめぐっては、2025年12月にオーストラリアで16才未満の利用を禁じる法律が施行され、注目を集めました。

10月9日(金)には通知表が渡されます。評定に目が向きがちですが、それ以上に「どんな自分になりたいのか」「幸せな大人になるために何を大切にしたいのか」を親子で話し合う機会にしていただければと思います。自分を変えられるのは自分自身です。そして、その挑戦を支えるのは、家族や仲間、先生方とのつながりです。西中学校の生徒一人一人が、人との関わりの中に幸せ(Well-being)を感じながら、自分らしい未来に向かって歩んでくれることを心から願います。

東京証券取引所出前授業を終えて

9月15日(火)、東京証券取引所金融リテラシーサポート部を講師にお迎えし、キャリア教育および社会科の学習の一環として、東京証券取引所出前授業を実施しました。

授業では、「株式会社のしくみ」を中心に、金融や経済について、中学生にも分かりやすく丁寧にお話しいただきました。株式会社の目的や役割についての説明に加え、実際に生徒が「社長役」「株主役」「買いたい人」の役になって考える活動も行われました。具体的な場面を体験しながら学ぶことで、生徒たちは楽しみながら「株式会社のしくみ」について理解を深めることができました。

今回の授業を通して、生徒たちは普段の生活と経済とのつながりを実感するとともに、社会の仕組みや働くことについて考える貴重な機会となりました。今回の学びが、将来の進路や自分の生き方について考えるきっかけとなることを期待しています。

後日、講師の先生が、学生向けWEBサイト「なるほど!東証経済教室」<https://www.jpx.co.jp/tse-school/> にレポートを掲載していただく予定となっておりますのでご覧下さい。以下は、去年の記事です。

西志津中学校: <https://www.jpx.co.jp/tse-school/report/c8uli2000000097o.html>



にしふえす!～広がる西志津の「わ」～

11月14日(土)、コミュニティ・スクールの取組の一環として、地域の皆様と一緒に楽しむイベント「にしふえす!～広がる西志津の『わ』～」を開催します。

生徒の非認知能力の育成を目指し、地域の団体やお店、個人の皆様による出店や催しを予定しています。保護者、西志津小学校の児童、地域の皆様との交流を深めるとともに、生徒の皆さんにも運営やさまざまな活動で活躍してもらう予定です。

応募してくれた皆さんありがとうございました。

地域の皆様と生徒たちがつながり、西志津の「わ」が広がる一日としたいと思います。



10月の主な予定

1日	木	後期日課開始 2年生校外学習	16日	金	3年生医薬品の授業
7日	水	印旛郡市駅伝競走大会	19日	月	校内研修 一斉下校 14:45
8日	木	やまぶき祭 生徒会役員任命式	20日	火	進路説明会 13:40～14:40 教育相談～28日
9日	金	前期通知表配付	26日	月	学年会議 一斉下校 14:45
13日	月	職員会議 一斉下校 14:45	29日	木	印教連公開研究会 一斉下校 14:45
15日	木	3年生実力テスト	30日	金	一部会音楽発表会
スクールカウンセラーの出勤日は木曜日です。10月は8日(木)と15日(木)と22日(木)です。					

学習指導部より

【登校後の「西中タイム」をさらに充実させます】

本校では、令和7年4月から、登校後の10分間を「朝の読書」から「西中タイム」へと変更しました。平日5日間の帯活動を総合的な学習の時間1時間分として位置付け、一人一台端末を活用した「シャボテンログ」を必須とした上で、それ以外の時間を一人一人の探究活動に活用しています。読書や学習、自分の興味・関心のあることについて調べたり、まとめたりする活動を通して、生徒が主体的に学ぶ姿勢を育てています。自分で選び、自分のペースで学ぶ経験を積み重ねることも、大切にしています。

令和8年10月からは、この「西中タイム」をさらに充実させ、生徒が自ら課題を設定し、その達成に向けて主体的に探究活動に取り組めるようにします。具体的には、月初めに自分の課題を設定し、その課題に基づいて学習や探究を進めます。そして、月末には取組を振り返り、自分の成長や新たな課題を確認し、次の学びへとつなげていきます。

また、課題や取組の様子を学級内で共有することで、仲間と学び合い、互いに高め合える学習環境づくりを進めていきます。友達の取組から新たな興味や学びのヒントを得ることも期待しています。

生徒一人一人が自分の興味・関心を起点に学びに向かい、自ら考え、行動する力を高めるとともに、将来にわたって学び続ける姿勢を育てていきたいと考えています。

学習指導部

西中タイム

を没頭し、達成感を感じる時間に

取組



自席で一人で進められるもの。

内容



読書、学習に関すること、自分が興味・関心があることなど

方法



書籍、タブレット、ノート等
※動画を見ても良いが、消音にすること。

(例)

図書室で借りた本を読む。



1週間後の漢字テストで高得点を取りたいから練習する。



漢字

英検に合格するために単語を覚える。



English

昨日やった部活動やクラブでアドバイスをもらったことについてまとめる。



自分が興味・関心のあることを調べてまとめる。



★自分で決めて、集中して、未来につなげよう!★

生徒指導部より

【10月の生活目標「自分の役割を確認し、責任を持って取り組もう」】

10月を迎え、学校生活も前期から後期へと節目を迎えます。これまでの学校生活を振り返るとともに、新たな気持ちで後期のスタートを切る時期です。

中学校生活では、学級の係や週直活動、委員会活動など、さまざまな場面で一人一人に役割があります。自分の役割を自覚し、責任をもって取り組むことは、集団の一員として生活する上で大切なことです。また、自分に任されたことに最後まで取り組む経験は、自信や成長にもつながっていきます。

そこで、10月の生徒指導目標を「自分の役割を確認し、責任を持って取り組もう」としました。後期の始まりを機会に、「自分には何ができるのか」「自分の役割は何か」を改めて考え、日々の学校生活の中で実践してほしいと思います。

ご家庭でも、お子さんが学校や家庭で担っている役割について話題にいただき、「任されたことに責任をもって取り組めたこと」や「自分から行動できたこと」を認め、励ましていただければと思います。小さな役割体験の積み重ねが、生徒一人一人の成長につながっていきます。

10月からの服装について

これまで、暑さへの対応としてクールビズ期間を設けていました。ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

朝夕の気温も下がり、少しずつ秋の訪れを感じられるようになってきました。そこで、生活委員会で協議をし、10月からは通常の制服での学校生活に戻します。ブレザー等の着用は気候に合わせて選択してください。ネクタイ・リボン・ベストの着用については、これまでと同様にご家庭の判断にお任せします。

季節の変わり目でもありますので、体調管理にも十分気を配りながら、気候に合わせた服装を心がけさせていきたいと思っています。ご家庭でも制服の準備等について、ご確認をお願いいたします。

生徒指導主事

自分の役割を確認し、責任を持って取り組もう

10月

10月の生徒指導目標

「自分の役割を確認し、責任を持って取り組もう」

- ✓ 自分の役割を意識する
- ✓ 最後までやり抜く
- ✓ 自信と成長につなげる

10月からの服装について

10月からは通常の制服での学校生活に戻ります。ブレザー等の着用は気候に合わせて選択してください。ネクタイ・リボン・ベストの着用はこれまでと同様に個人の判断に任せます。気候の変化に合わせた服装で、体調管理にも気を付けましょう。

一人一人の役割が、集団の力を高めます。